

資料配付の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配付)
 2. 国土交通記者会(資料配付)
 3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配付)
- 日時: 令和8年7月31日14時同時配付



令和8年7月31日
国立研究開発法人 土木研究所

長寿命化を支援する AI システムをアップデート！ ～橋梁診断支援 AI システムの対象部材の拡大～

国立研究開発法人土木研究所は、橋梁の診断に関する専門家の知識や思考方法を参考にしながら、AI を活用して橋梁の診断を支援する「橋梁診断支援 AI システム」の開発を行っています。2024 年には、「橋梁診断支援 AI システム」を構築し、RC 床版とその損傷を対象としたシステムの一般公開を開始しました。今回、コンクリート桁を追加した AI 診断支援システム(RC 床版、コンクリート桁)について公表することとしましたので、お知らせいたします。

1. 橋梁診断支援 AI システムのポイント

橋の長寿命化を進めるためには、インフラに不具合が生じる前に適切な対策を行う「予防保全」が重要です。土木研究所では、橋梁の予防保全を支援するため、橋梁診断に関する専門家が持つ知識や思考方法をもとに、システムを開発しました。対象橋梁の諸元情報や点検情報等を入力することで、RC 床版部材とコンクリート桁を対象に、診断結果とその理由、措置方針等を提示します。

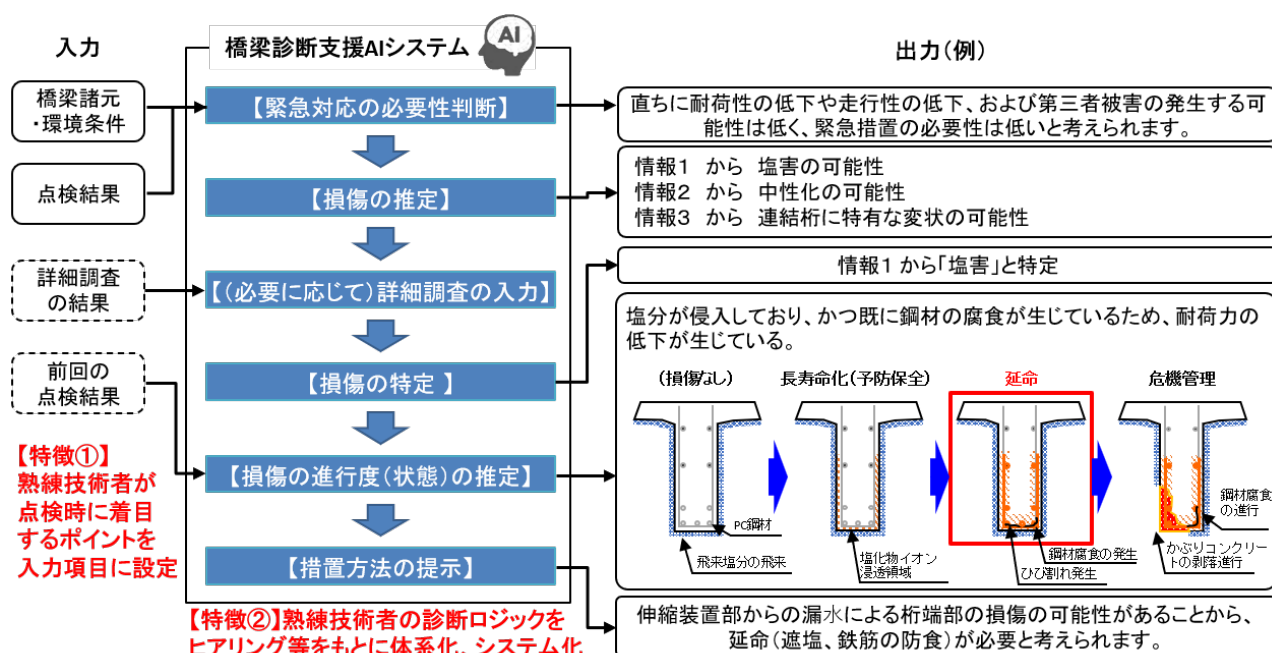


図-1 橋梁診断支援 AI システムのイメージ

2. 橋梁診断支援 AI システムのアップデート内容

2024 年に公開した橋梁診断支援 AI システムでは、RC 床版部材を対象としていました。今回のアップデートでは、コンクリート桁（床版橋と桁橋）を対象に追加しました。

表-1 橋梁診断支援 AI システムの対象部材と損傷一覧

部材	損傷
RC 床版 (2024年12月公開済み)	疲労
	土砂化
	塩害
	鉄筋の腐食(塩分無し)【張出し部】
	凍害【張出し部】
コンクリート桁(床版橋) (2026年7月公開)	塩害
	ASR
	凍害
	土砂化
	滞水
	ボイド管浮き上がりによる陥没
	連結桁に特有な変状
コンクリート桁(桁橋) (2026年7月公開)	塩害
	連結桁に特有な変状
	その他

3. 橋梁診断支援 AI システム(RC 床版・コンクリート桁) ダウンロードページ

橋梁診断支援 AI システムは以下の Web ページにて公開しています。また、システムの根拠となっている、熟練技術者の点検時の着目点や診断ロジックを体系化した「診断セット」についても、あわせて公開しています。

【URL】

<https://www.pwri.go.jp/caesar/activity/research/40-diagnosis-support-technology/ai-system.html>

問合せ先

国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター(CAESAR)

橋梁構造研究グループ 平野、森本、須田 Tel: 029-879-6773